

# 発症前の modified Rankin Scale が 4 以上の患者に対する 経皮的血栓回収療法の施行理由の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

## 研究の目的と方法

経皮的血栓回収療法は、脳梗塞の中でも重症な脳主幹動脈閉塞症に対して行われます。3人に1人に高い治療効果があるといわれています。治療対象となるのは、発症前に基本的に日常生活動作が自立している場合とされていますが、自立が認められない場合でも一定の治療効果があることが分かっています。自立が認められなかった方がなぜ治療対象となったのか理由に関しては明らかになっていません。この研究は、日常生活動作が非自立でありながら、経皮的血栓回収療法が施行された理由を明らかにすることを目的としています。

診療記録を収集しますが、比較検討は行いません。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## 研究の対象となる方

2021年1月～2027年3月に当院で経皮的血栓回収療法を受けられた方  
今回脳梗塞発症前の日常生活動作が非自立の方（modified Rankin Scale が4以上）

## 使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、自立度の経時的変化、採血や画像検査など

使用開始予定日：2026年2月2日

## 研究予定期間

2026年2月2日～2027年3月31日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 脳神経内科 神宮隆臣

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

## 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経内科 医長 神宮隆臣

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)